

それぞれの視点から考える【多面的・多角的に考える】Yチャート

【校種・学年】 中学校第3学年

【教科・領域】 道徳科

【実践の概要】

1 主 題 名 社会連帯の精神（教材名：憧れの消防団）  
 （内容項目：C（12）社会参画，公共の精神）

2 本時の実際

（1）本時の目標

社会参画をすることの意義と価値を考えるを通して，社会活動により主体的に関わっていかうとする意欲を育てる。

（2）本時の展開

時	主な学習活動	研究の視点
導入	○「社会の一員として～をする」の～には、どんな言葉が当てはまるか考える。 ・仕事 ・納税 ・人の役に立つ など 「社会の一員として」をキーワードに考えよう。	
展開	○主人公の最後のセリフについて考える。 ○「 <b>自主的な社会活動についてよいこと</b> 」を <b>3つの視点（自分にとって、他人にとって、社会にとって）でYチャートを用いて考える。</b> ・自分：社会貢献，達成感 など ・他人：安心感，負担軽減 など ・社会：人のつながり，経済活動 など ○社会の一員として「社会の仕組みの中で生きていく」ことについて考える。（グループ）	視点2（3） 「思考を表現に置き換える」  視点2（1） 「互いの考えを比較する」
終末	○ある消防団員の動画を見る。 ○「社会の一員として」について，考えたことをまとめる。	

4 成果と課題

○道徳科では主人公や自分を主に考える傾向があるが，視点を意図的に設定したことにより，事象を多面的・多角的に捉え，考えることができた。

○それぞれの視点から整理した情報から，矢印などを用いて関係性を見出すことができた。

■設定する視点によって，事象の見方・考え方が大きく左右されるため，どのような視点を設定するかが重要である。

5 ツールに見られた思考の姿

